

【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2, 4	運営推進会議への家族の出席率が良くないため、家族やその他の出席者にも参加してもらいやすいような議題の設定等による、会議の活性化が必要。	運営推進会議の議題に、「熱海市役所より」や「地域包括支援センターより」「町内会より」などの議題を取り入れ、情報発信の場として活用し、参加者の協力も得ながら会議の活性化を目指す。	事前に議題の内容を相談し、各方面からの情報発信をしていただくよう協力依頼をする。また、その都度運営推進会議のお知らせに議題内容を分かりやすく記載する工夫をし、家族の参加率の向上を図る。	4ヶ月
2	19	本人の精神的及び身体的な痛みや辛さの理解が家族に伝わりにくい。 本人に対する家族の関わりが少ない。	家族への細かい状況報告等により、本人への温かい対応及び理解を促す。 家族の面会を増やせるよう働きかける。	職員は本人と家族の絆を大切にしながら共に本人を支えていく関係を築けるよう、日頃のケアの中で働きかける。家族との連携を強化し、本人の精神的身体的状況を家族と共有し、共に支えていく関係づくりを目指す。	6ヶ月
3	49	外出の回数が少ない。出かけたくない方や身体状況等により外出が困難な方もいるため、配慮をしながら外出頻度を増やしたい。	週に2～3回の外出機会を持つ。	日用品の買い物や近くの公園等への散策を行い、外に出かける機会を増やす。 身体状況による外出機会が少ない方が、外出しやすいよう、天気の良い日に外気浴を含めて屋外の散歩などを組み入れる。	6ヶ月
4	53	自室に引きこもることが多い方がいる。	共用居室で過ごす時間を少しでも多く持てるような環境づくりを心がける。	共用居室を明るく出入りしやすい雰囲気にするよう環境づくりに配慮し、職員の対応も暖かく向かい入れることに心を配る。 共同作業の時間等も設けることにより、自室から離れて過ごす時間が多くなるよう心掛ける。	6ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。